

公共政策プログラム 防災・危機管理コース

コースの目的

防災・危機管理コースは、わが国の防災・危機管理政策を強化していく観点から、これまでの災害経験等を踏まえるとともに今後想定される巨大災害等に備えて、防災・危機管理に関する最新の取組み・課題等について学ぶことにより、総合的な専門知識を有し、関連政策の企画や実践に係る高度な能力を有するエキスパートを育成することを目的としています。

ディプロマ・ポリシー

防災・危機管理コースで、学生が身に付けるべき資質・能力の目標は次の通りです：

- ① 各種災害や気象に関する総合的な専門知識を持ち、課題解決に向けた政策を提言し、実行することができる能力
- ② 被災地の現状を理解し、復興や災害に強い地域づくりに関する政策を立案・実践することができる能力
- ③ 国・都道府県・市町村・企業等の防災・危機管理を担うキーパーソンとして関係機関と連携し、政策を実現することができる能力
- ④ 課題の解決に向けて、データの収集・分析等により、研究論文や政策提言としてまとめ、的確に表現することができる能力
- ⑤ 公共政策に係る多角的な知識や各行政分野の現状・課題に深い理解を持ち、視野の広いリーダーとして活躍することができる能力

カリキュラム・ポリシー

【政策論文演習】

政策論文演習では、論文作成に向け、専門分野の知識をより深く身に付けさせるとともに、より実践的なコミュニケーション能力、課題解決力、論理的思考力を養成します。

【コース指定科目】

コース指定科目としては、災害対策各論Ⅰ、危機管理政策、防災と復旧・復興、消防防災減災・被災地学習、災害リスクマネジメントが、またコース推奨科目としては、災害対策各論Ⅱ、気象と災害があり、防災・危機管理に関する総合的な専門知識を習得できるよう構成されています。このうち、消防防災減災・被災地学習と災害リスクマネジメントは、被災地や関係機関を直接訪問して経験・知見を学び、あるいはワークショップやディスカッションを行う

演習方式を取り入れるなど、理論・知識の応用・実践に資するような授業を行っています。

【個別指導】

学生の個別指導では、主指導教員及び副指導教員の複数名体制での研究指導を行っています。

アドミッション・ポリシー

求める学生像

本コースでは、国、自治体、企業等の防災・危機管理に今後携わる担当職員や幹部候補者等を対象に教育を実施し、専門知識を身につけ、高度で総合的な政策判断・実践能力を有する人材を育成することとしており、国民・住民を守り、安全な社会・地域等の構築に貢献することを目指す意欲ある学生を受け入れます。

入学前は、大学学部卒の能力を備え、防災・危機管理についての関心・意欲を有していることが求められます。

また、分野は問いませんが、実務経験を有していることが望ましいです。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。審査は、これまでの経験、推薦者2名の評価内容、自己推薦の内容、大学(学部)の学位・学習内容・成績等を総合的に判断し、選考します。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

面接では本学への志望動機や、本学で学びたいこと、取り組みたい研究テーマ、これまでの経験、修了後の予定など、質疑応答の中で、本人の関心・意欲等を確認し、総合的に選考します。

カリキュラムマップ： 公共政策プログラム防災・危機管理コース

			ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②	ディプロマポリシー③	ディプロマポリシー④	ディプロマポリシー⑤
区分	科目番号	科目名	①各種災害や気象に関する総合的な専門知識を持ち、課題解決に向けた政策を提言し、実行することができる能力	②被災地の現状を理解し、復興や災害に強い地域づくりに関する政策を立案・実践することができる能力	③国・都道府県・市町村・企業等の防災・危機管理を担うキーパーソンとして関係機関と連携し、政策を実現することができる能力	④課題の解決に向けて、データの収集・分析等により、研究論文や政策提言としてまとめ、発表することができる能力	⑤公共政策に係る多角的な知識や各行政分野の現状・課題に深い理解を持ち、視野の広いリーダーとして活躍することができる能力
区分I 必修科目	PPP1000J	研究技法基礎				○	○
区分II 選択必修科目	ECO1000J	ミクロ経済学Ⅰ				○	○
	ECO1050J	マクロ経済学				○	○
	ECO2700J	計量経済学				○	○
	ECO2710J	費用便益分析				○	○
	GOV2100J	政策過程論				○	○
	ECO3000J	ミクロ経済学のビジネス実践					○
	GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価				○	○
	GOV3100J	政策マネジメントの実践				○	○
	GEN5020E	The World and the SDGs					○
	GEN5030J	GRIPS ForumⅠ					○
	GEN5040J	GRIPS ForumⅡ					○
	IPR1020J	民法の基礎					○
	MOR1030J	データサイエンス基礎				○	○
	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ				○	○
	MOR2000J	計画と評価の数理				○	○
	MOR2020J	実践データサイエンス				○	○
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ				○	○
	PAD3100J	EBPM概論				○	○
	REG1200J	行政法の基礎					○
(コース 指定科目)	DRM2000J	防災と復旧・復興	○	○	○		
	DRM2010J	災害リスクマネジメント	○	○	○		
	DRM3000J	災害対策各論Ⅰ	○	○	○		
	DRM3020J	危機管理政策	○	○	○		
	DRM3030J	消防防災減災・被災地学習	○	○	○		
	DEV2140J	景観・デザイン論					○
	DEV2150J	都市学の理論と実践	○	○			
	DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI	○	○			
	DEV2180J	水圏国土学	○	○			
	DRM2050J	気象と災害	○	○	○		
	DRM3010J	災害対策各論Ⅱ	○	○	○		
	DRM4010J	防災・危機管理政策論文演習	○	○	○	○	○
	ECO2000J	ミクロ経済学Ⅱ				○	○
	ECO2020J	政府と市場				○	○
	ECO2600J	経済政策の理論と展開				○	○
	ECO2900J	ゲーム理論				○	○
	ECO3104E	Polical Economy				○	○
	ECO3100J	日本経済の現状と課題					○
	ECO3330J	都市政策の空間分析				○	○
	ECO3440J	世界経済の見方:国際的政策協調の中で					○
	ECO3620J	構造変化の下での財政金融政策					○
	ECO3750J	経済シミュレーション分析				○	○
	ECO3870E	Agricultural Development					○
	ECO3890E	Development Econometrics					○
	ECO3920E	Economic History and Institutions					○
	GEN3000E	International Development Policy					○
	GEN4000J	政策研究演習				○	○
	GEN5050E	Social Issue Workshop: Lessons from Japanese Experiences					○
	GEN5060E	Social Issue Workshop for Business-Driven Innovation					○
	GEN5070E	Workshop on Policymaking for Sustainable Development					○
	GEN5080J	サイバーセキュリティ					○
	GEN5090J	AI政策実践論				○	○
	GOV1200J	国際協力論					○
	GOV2110J	日本政治と理論分析					○
	GOV3500J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応					○
	PAD2000J	気候変動と地域社会	○	○			○
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済	○	○			
	MOR3010J	数理モデル分析演習				○	○
	REG2310J	地方自治と行政学	○	○			
		上記以外の授業科目					
区分X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目					